

Before



## 治水、環境、景観の 三位一体。

豪雨災害による被災箇所の改良復旧を図るため、堆積土砂の除去および河道拡幅（※1）のほか、護岸（※2）の整備を行いました。周辺は、豊かな河川環境を有していることから、良好な河川景観、生物の生息・生育環境を保全しようと、護岸整備は必要最小限にとどめました。また、護岸ブロックの明度規定、現地発生土による寄せ石等により、治水、自然環境、景観の調和を図りました。

※1 川幅を広げること。

※2 川岸が川の流れによって削られるのを防ぐために設ける施設。



N39度41分18秒 E140度53分48秒  
(39.688,140.897)



After

## 北上川水系雫石川

Kitakamigawasukei SHIZUKUISHIGAWA